

令和3年度 一人一人の確かな学力のために

1年

		学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名の定着(100%)を図ります。身の回りの言葉と関連付けながら、日常生活の中で読んだり書いたりします。 新出漢字の定着を目指します。そのため、週に1回程度、漢字小テストを実施します。見直しや間違いを直す習慣を付けます。繰り返し漢字ドリルを用いて反復練習を行い、筆順と文字の形も正しく身に付けさせます。 主語と述語を意識して、読んだり書いたりする児童を目指します。授業中、発表の際に主語を入れて発表させたりします。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名は、ほとんどの児童が読み書きできます。促音や拗音の使い方は、まだ不安が残ります。日常生活と関連付けて、言葉を書いたり読んだりし、さらなる定着を図ります。 主語と述語を意識して、簡単な日記と文章を書くことができました。ほとんどの児童が、発表の際に主語を入れて発表することができています。引き続き、主語と述語を意識できるよう指導をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期末の単元末漢字25問テストでは、95%の児童が9割以上の得点をとり合格しました。 現在行っている3学期の漢字小テストは、平均点が90点です。間違えた問題はそのまま直して直し、覚える習慣をつけ、学年末に向けて定着を目指します。 文章を書くときは、ひらがなの「っ」や句読点を正確に書き、既習の漢字を使って文章を書く指導をします。文の役割や構造を学習し、会話の中にも自然と主語を明らかにして、話をする児童が増えました。文章を書く際にも生かしていけるよう、今後も指導します。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 1位数と1位数の加法・減法、簡単な2位数の加法・減法の定着(単元末テストで90点以上を9割)を目指します。そのため、家庭学習期間で既習内容の東京ベーシックドリルに繰り返し取り組みます。授業の始めに、フラッシュカードや計算ドリルを活用し、繰り返し計算練習を行います。 時刻を読めるようにします。そのため、時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けるようにします。また、日常生活でも時計を活用して行動します。 	<ul style="list-style-type: none"> 1位数と1位数の加法と減法は、9割以上の児童が定着しています。ですが、まだ指を使ったり、ブロックを使っている児童も見られます。引き続きフラッシュカードや計算ドリルを用いて、瞬時に答えが導けるよう指導を続けます。 学校生活の中で、時計を意識させています。ほとんどの児童が、学校生活の時刻は読めるようになってきています。引き続き学校生活と関連付けて、時刻を読めるように指導していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりのあるたし算・繰り下がりのあるひき算は宿題で繰り返し復習することができました。学年末に向けて、フラッシュ計算などを行い、たし算・ひき算の答えを瞬時に答えられるようにします。 時計の学習では、普段の生活と関連付けながら、学年末に向けて、100%の児童が何時何分と正確に読むことができるよう指導します。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとでの伝統や文化に親しむ児童を育てます。地域の伝統文化である、「和風作り」に参加し、地域愛を育みます。 SDGsの視点を取り入れ、調べ学習のできる児童を育てます。そのため、国語科・生活科と関連させ、調べる学習などの探求活動を行います。 読書に親しみ、1学年の読書目標80冊を達成できる児童を目指します。そのため、マイブックとしていつも手元に本がある状態にし読書環境を整えます。読み聞かせを行ったり、教科に関連する本を紹介したりして、読書に親しめるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の朝顔作りの方の力を借り、つるの巻き方を学びました。地域の文化や伝統に親しみ、地域愛を育みました。 「読書貯金」を用いて、読んだ本を記録し、読書に親しんでいます。1学期の時点で、20冊以上読んでいる児童も多くおり、読書の習慣が身に付いています。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の100冊は年間で4割の児童が達成することができました。残りの8割の児童は、週に1回の図書の間時間も活用し、50冊を達成しています。読書に親しむ児童が多く、目標の100冊を突破し、200冊、300冊と達成する児童や800冊を突破している児童もいました。マイブックを活用し、隙間時間に自主的に読書ができました。
思考力・判断力	表現力	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見い出し、見通しをもって解決することのできる児童を目指します。そのため、授業の始めに、めあてを明確にし、課題を解決するための教材、場、時間を確保します。自分の考えを具体物、絵、図、言葉で表現できるようにします。授業の最後には、まとめや感想を書いて振り返ることで、自分の達成度を確認したり、次時の課題をもたせませす。 自分の思いや考えをもち、友達に伝えられる児童を目指します。相手の発言を受けて質問したり、確かめたり、共感を示すようにします。話がつながることの楽しさや良さを価値付けます。 学習過程が分かるノートを書くことのできる児童を目指します。ノートの使い方を教え、めあて、考えなど学習過程が分かるように指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてを明確にすることで、9割以上の児童が見通しをもって授業に臨むことができています。1学期は、主に言葉で自分の考えを伝えることができました。2学期は、タブレットや図なども用いて自分の考えを表現できるようにしていきます。 全員が、自分の思いや考えをもち友達に伝えようとしています。また、発表者の考えや思いに共感することができています。2学期以降は、相手の発言を受けて質問したり確かめたりできる児童を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> めあて、見通し、自分の考え・学び合い・練習問題・まとめ・振り返りという学習の流れは定着しました。今後は、次時の課題を自ら見付けられるよう、指導していきます。 お話マスクを活用しながら、ペアや4人のグループの話し合い活動を行い、友達の意見に共感しながら聞くことができる児童が増えました。 9割の児童が教師の板書を、同じようにノートに写すことができるようになりました。自分の考えを書くときは、図や言葉などを用い、自分なりに工夫しながら考えも書くことができるよう、今後も指導していきます。
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習時間を毎日15分(15分×1年生)取り組むことを目指します。そのため漢字・音読・算数の宿題を毎日課し、宿題の提出を確認します。そして、宿題の提出率100%を目指します。 チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化を目指します。一日の流れを掲示し見通しをもたせるとともに、できている児童をほめたり、グループで声をかけ合ったりさせることで100%の定着を図ります。 話を聞く姿勢を身に付けます。そのため、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手を見てだまって最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・音読・計算の宿題を毎日課し、9割以上の児童が提出できています。2学期以降は、提出率が100%になるように声掛けと指導をしていきます。 9割以上の児童は、授業前のチャイム着席ができています。休み時間の後は、時間に間に合わないことがあります。引き続き声掛けをし、定着を目指します。 掲示してある聞き方名人を参考にし、ほとんどの児童が相手を見て静かに話を聞くことができています。話を聞く際に、姿勢がくずれてしまうことがあるので、声掛けをしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題の提出率は97%です。今後も100%を目指します。学校に持って来るのを忘れることがないよう、家庭とも連携しながら、指導していきます。 チャイム着席は児童同士でも声を掛け合いながら、9割の児童が達成できています。次時の授業の準備ができていた児童は5割程度です。年度末に向けて、声掛けを行い、意識させていきます。 話し手を見ながら話を聞ける児童は7割です。話し方名人、聞き方名人を再確認し、目と耳と心で相手の話を聞く指導を徹底していきます。